

ダニアレルギー対策会発足

サンゲツなどの異業種4社のコンソーシアム

サンゲツと塩野義製薬(株)、ダイキン工業(株)、帝人フロンティア(株)の4社による「ダニアレルギー対策会」がこのほど発足した。

これは、ダニによる通年性アレルギー性鼻炎の認知向上と対策方法の啓発を目的とするコンソーシアム。

4社が共同でイベントを開催したり、各社それぞれダニアレルギー対策の啓発や研究成果の発表などを展開していくという。

サンゲツでは、様々な技術で室内環境の改善に貢献する商品を企画・開発しており、アレルギー性鼻炎の対策に不可欠とされる「アレルゲン暴露を避けるための室内環境改善に繋がる商品」については、壁紙・カーテン・カーペットでアイテムを揃えている。

アレルギー性鼻炎患者数は近年増加傾向にあり、花粉などが原因の季節性アレルギー性鼻炎と、ダニなどが原因の通年性アレルギー性鼻炎を合わせると日本で4人に1人がアレルギー性鼻炎と推計されるという。

ダニを原因とする通年性アレルギー性鼻炎の患者数は、住宅の気密性向上などを背景に増加しており、花粉症に代表される季節性アレルギー性鼻炎に比べ、疾患や対策に関する関心や認知は低いと考えられており、現在、その認知向上の重要性が高まっていることから会の発足となった。

東京室内装飾新聞(第616号)より引用